

正味財産増減計算書

令和6年7月1日から令和7年6月30日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,695	206	2,489
特定資産受取利息	2,695	206	2,489
受取入金	50,000	50,000	0
受取入金	50,000	50,000	0
受取会費	4,224,000	4,328,000	△ 104,000
受取会費	4,224,000	4,328,000	△ 104,000
事業収益	215,261,601	224,659,241	△ 9,397,640
嘱託登記事業収益	215,261,601	224,659,241	△ 9,397,640
雑収益	96,928	77,909	19,019
受取利息	12,832	286	12,546
雑収益	84,096	77,623	6,473
経常収益計	219,635,224	229,115,356	△ 9,480,132
(2) 経常費用			
事業費	203,624,251	211,377,032	△ 7,752,781
役員報酬	312,340	333,521	△ 21,181
退職給付費用	6,944,439	6,375,466	568,973
福利厚生費	303,947	287,499	16,448
旅交通費	610,049	562,789	47,260
通信搬送費	893,546	702,304	191,242
消耗品費	267,697	262,314	5,383
印刷製本費	404,595	461,486	△ 56,891
賃借料	181,500	116,600	64,900
支払リース料	660,000	660,000	0
支払リース料	16,216	16,216	0
保険料	345,550	359,200	△ 13,650
業務処理費	188,439,481	196,882,706	△ 8,443,225
租税公課	2,185,820	2,162,302	23,518
雑減価償却費	142,040	138,830	3,210
管理費	1,917,031	2,055,799	△ 138,768
役員報酬	11,813,237	11,682,020	131,217
退職給付費用	752,820	655,669	97,151
福利厚生費	1,879,498	1,725,507	153,991
旅交通費	82,263	77,811	4,452
通信搬送費	217,109	222,318	△ 5,209
消耗品費	340,915	353,740	△ 12,825
印刷製本費	486,160	500,128	△ 13,968
賃借料	1,315,959	1,331,426	△ 15,467
支払リース料	455,829	350,440	105,389
支払リース料	141,710	47,480	94,230
賃借料	660,000	660,000	0
支払リース料	16,216	16,216	0
保険料	43,650	45,000	△ 1,350
業務処理費	2,990,975	3,515,331	△ 524,356
租税公課	1,017,500	885,500	132,000
雑減価償却費	279,180	121,598	157,582
管理費	925,500	824,000	101,500
役員報酬	21,000	137,958	△ 116,958
福利厚生費	178,759	177,950	809
旅交通費	8,194	33,948	△ 25,754
経常費用計	215,437,488	223,059,052	△ 7,621,564
評価損益等調整前当期経常増減額	4,197,736	6,056,304	△ 1,858,568
評価損益等調整額	0	0	0
当期経常増減額	4,197,736	6,056,304	△ 1,858,568
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,197,736	6,056,304	△ 1,858,568
一般正味財産期首残高	56,923,579	50,867,275	6,056,304
一般正味財産期末残高	61,121,315	56,923,579	4,197,736
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	61,121,315	56,923,579	4,197,736

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	定額法による償却によっている
什器備品	定率法による償却によっている
ソフトウェア	定額法による償却によっている

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 給与規定に基づき定めた支給基準により、設定している

(3) 消費税等の会計処理

税込処理によっている

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	3,785,760	386,210	0	4,171,970
事故対策引当資産	3,700,000	0	0	3,700,000
財務調整積立資産	1,500,000	0	0	1,500,000
減価償却引当資産	1,010,000	0	0	1,010,000
関プロ総会準備引当資産	800,000	0	0	800,000
合計	10,795,760	386,210	0	11,181,970

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
退職給付引当資産	4,171,970	—	—	(4,171,970)
事故対策引当資産	3,700,000	—	(3,700,000)	—
財務調整積立資産	1,500,000	—	(1,500,000)	—
減価償却引当資産	1,010,000	—	(1,010,000)	—
関プロ総会準備引当資産	800,000	—	(800,000)	—
合計	11,181,970	(0)	(7,010,000)	(4,171,970)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	451,500	451,499	1
車輛運搬具	1,579,760	1,432,762	146,998
什器備品	16,731,282	15,633,011	1,098,271
合計	18,762,542	17,517,272	1,245,270